

レッドカチューシャの23

全400口 | 1口出資額45,000円(税込) | 総額1,800万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



父は米3歳王者輩出の華麗な実績、2歳の頂点を視野に夢が加速する

現時点における馬体の特徴と適性

世界規模で成功を収めた日本産の大種牡馬ディーブインパクトと、米G3ハニーフォックスHを勝っているデルモニコキャットとの配合から誕生した母のレッドカチューシャ。当クラブに所属し競走馬デビューを果たすと、新潟芝1800mコースを舞台とした3歳未勝利戦、新潟芝1600m戦で争われた500万下新発田城特別と、二つの勝ち鞍をマークしてから繁殖生活をスタートさせました。ハービンジャーを父に持つ初仔ルージュジャドルがJRAで勝ち上がり記録するなど順調な滑り出しを果たし、子供たちの更なる飛躍が待たれます。そして父に米G1ブリーダーズCジュヴェナイルの勝ち馬で、現在3歳となっている初年度産駒から重賞馬エートラックスが出たニューイヤーズデイを迎えて登場してきた5番仔となる牡駒が本馬です。短めで、落ち着いた佇まいとなっている首差し、腰、尻にかけてのラインが綺麗な背中、容積が大きなトモ、ボリュームがあり、深みも申し分のない胴、飛節の柔軟性が光る後肢といった強調材料を持つ馬体は、重心の低い、力強さと伸びやかさを兼ね備えた動きを生み出しています。じっくりと仕上げ、2歳秋の中距離戦でデビューするのが理想的。やや力の要る馬場で、大仕事を成し遂げる雰囲気の色濃く漂わせています。

寺島良調教師コメント

馬体は全体的にカチツとしていて、特にお尻の発達が素晴らしくボリュームがあります。ニューイヤーズデイ産駒は、お尻の幅があるタイプが多いですから、本馬も父の特徴が強めに突出しているように思います。歩様に目をやると、ゆったり伸びがあるように感じますし、重苦しさもありません。血統的にはダート戦が主戦場でも、スピードを活かした舞台で結果を出していけるのではないのでしょうか。距離が持つようなら、整備されたばかりの地方競馬ダート三冠競走にも挑戦してみたい気持ちがあります。厩舎の運営方針としては、より多くのレースを使っていくことを念頭に置いています。数を使っていく中で、馬の特徴やこういった条件が合っているのかを探るスタイルです。厩舎の基礎は固まっているので、これまで通り牧場と連携し、本馬もビッグタイトルを目指したいと思っています。

	マキアヴェリアン	Mr. Prospector
ストリートクライ	Machiavellian	Coup de Folie
Street Cry		
黒鹿 1998	ヘレンストリート	Troy
	Helen Street	Waterway
*ニューイヤーズデイ		
New Year's Day		
鹿 2011	ディキシーユニオン	Dixieland Band
ジャストホイツルディキシ-	Dixie Union	She's Tops
Justwhistledixie		
黒鹿 2006	ジェネラルジーン	Honour and Glory
	General Jeanne	Ahpo Hel
	*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
レッドカチューシャ	Wind In Her Hair	Burghclere
Red Katyusha		
青鹿 2010	ストームキャット	Storm Bird
	*デルモニコキャット	Storm Cat
	Delmonico Cat	Terlingua
鹿 1999	グラスシーリング	Pirate's Bounty
	Glass Ceiling	Forever Faithful

Halo:M4×S5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

寺島良調教師(栗東)

◆1981年6月27日生 ◆2016年開業(9年目) ◆JRA通算209勝 ◆JRA重賞4勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- キングズソード:JBCクラシック(Jpn1) ●ディバインフォース:ステイヤーズS(G2) ●セラフィックコール:ダイオライト記念(Jpn2)
- キングズガード:プロキオンS(G3)、マイルCS南部杯(Jpn1)3着 ●ヘリオス:グリーンチャンネルC(L)、マイルCS南部杯(Jpn1)2着
- テルベリオン:仁川S(L)、マーキュリーC(Jpn3)3着 ●ヤクシマ:クロッカスS(L)
- ミスマンマミーア:大阪・ハンブルクC、日経新春杯(G2)2着 ●シングルアップ:フェニックス賞 ●ジュランビル:フィリーズレビュー(G2)3着



ファミリー(母系)

母の父 ディーブインパクトは早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:オーギュストロダン(英ダービー-G1)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチュリティS-G1)、プレイディヴェーグ(エリザベス女王杯-G1)

母 レッドカチューシャ(10 ディーブインパクト)2勝、新発田城特別(芝1600m)。産駒 ルージュジャドル(18牝鹿*ハービンジャー)1勝、オタルグリーン(21牝鹿*ハービンジャー)入着、◎

祖母 *デルモニコキャット Delmonico Cat(99 Storm Cat)米国産、北米6勝、ハニーフォックスH-G3、Flawlessly S、Possibly Perfect S、Indian Maid Breeders' Cup H-L2着、Estrapade H-L2着。産駒 サタンズサーカス Satan's Circus(牝 Gone West)仏4勝、Prix Caravelle Haras des Granges-L、北米入着、アメリカンオーク招待S-G12着、デルマーオークス-G14着、サンタアナH-G24着、カウターエア(騎オルフェーヴル)3勝、鶴ヶ城特別、ジョングルー(牡ディーブインパクト)3勝、レッドシェリフ(牡ハーツクライ)3勝、グレイスニコ(牝スクリーンヒーロー)1勝、ワルツオブキャット(牝Songandaprayer)北海道公4勝。産駒 トーセンアンバー(牝ディーブインパクト)2勝、ブルーノジュネス(騎トーセンファントム)2勝

曾祖母 グラスシーリング Glass Ceiling(90 Pirate's Bounty)北米5勝、California Cup Matron H、同2着、Pro Or Con S、バヤコアH-G22着、Bayakoa H-L2着、Torrey Pines S2着、Run for the Roses H-L3着、パロマーH-G24着。産駒 マックスアプレンティ Maxaplenty:北米3勝、ゴールデンゲイトH-G34着

四代母 フォーエヴァーフェイスフル Forever Faithful(78*ブレイヴエストローマン)北米1勝、Piedmont S、Cinderella S3着。ストラテジスト Strategist(El Cerrito Breeders' Cup H-L2着)、シャルビーフェイスフル Shall Be Faithful(California Breeders' Champion S2着)の母

配合診断

芝もダートも支配できる野望を叶える配合、スピードの原資が豊富でマイルの最高峰へ

母レッドカチューシャは芝2勝。「ディーブインパクト×Storm Cat」の組み合わせは、キズナ、リアルスティール、エイシンヒカリをはじめ国内外で9頭のG1馬を送り出したニックス。ポテンシャルの高さを感じさせる配合です。父ニューイヤーズデイはブリーダーズCジュヴェナイル(米G1・ダ8.5F)の勝ち馬。サイズが小さめというハンディキャップを抱えながら、種牡馬として米3歳牡馬チャンピオンのMaximum Securityを出しました。日本での初年度産駒から兵庫チャンピオンシップ(Jpn2・ダ1400m)の勝ち馬エートラックスを出しています。「ニューイヤーズデイ×ディーブインパクト」の組み合わせは、出走した6頭中3頭が勝ち上がるハイアベレージ。芝馬のベストオブユーが出ているようにダート専用の配合ではありません。芝・ダート兼用のマイラーでしょう。